



枕崎市立 枕崎中学校

生徒数 214 人
学級数 8 クラス



テーマ

同和問題をはじめとする人権問題についての正しい理解と認識を深めるとともに、一人一人の子供を深く理解し、それぞれがお互いを尊重し合う学校づくりに努める。

研究に当たって(テーマ設定の理由)	研究スケジュール
他の人とともによりよく生きようとする態度や集団生活における規範などを尊重し、義務や責任を果たす態度、具体的な人権問題に直面してそれを解決しようとする実践的な行動力を身に付けるためには、人権問題についての正しい理解と認識を深めることが大切である。そこで、上記テーマを設定することにした。	4月27日(月) 職員研修「令和2年度研究推進計画」 5月22日(金) 講師を招聘しての職員研修 8月28日(金) 講師を招聘しての小中合同職員研修 11月14日(土) 枕中未来塾(進路講演会)の実施 12月3日(木) ~14日(月) 人権について考える週間「標語・ポスター・お薦めの本紹介文」作成 12月16日(水) 講師を招聘した人権集会

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

- 枕中未来塾という名称で、令和2年度は8名の講師を招き進路講演会を実施した。自分の生き方や進路について考えるとともに、気づき考え自ら行動する生徒を育成するための取組である。多様な考え方や生き方を全校生徒が学ぶことができる場になっている。
- 世界人権デー前後10日間で「人権について考える標語及びポスター作成(1, 2年)」と「人権に関するお薦めの本の紹介文作成(3年)」に取り組んでいる。また、優秀作品の選定や表彰を生徒会が行っている。
いじめ等の身近にある人権問題に気づき、人権を守ることの大切さを
知ることによって生徒の人権感覚を養っている。
- 12月に講師を招聘した人権集会を実施した。基本的な人権についての具体的な内容を理解し、コロナ差別などの新しい人権課題を学んだ。また、互いに協力して生活の中にある課題を解決し、様々な情報から正しい情報を読み取る力の大切さを学んだ。



【人権ポスター・標語 選定の様子】



【講師を招聘した人権集会】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容,よかったこと,今後やってみたいこと)

- 教職員とともに生徒の人権問題への正しい理解と認識が深まり、人権意識が高まっている。
- 自分の人権を守り、家族をはじめとする他者の人権を守ろうとする態度が育まれてきた。
- 生徒自身が自分のよさや可能性を認識することや更なる自尊感情の育成が課題である。